

● 地図面の見方

1 避難施設

● 避難施設の種類



指定緊急避難場所・指定避難所
指定緊急避難場所と指定避難所を兼ねる場所です。



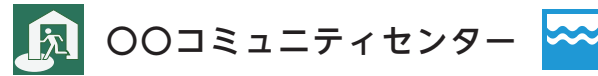
指定緊急避難場所
災害の危険から命を守るため一時的に避難する場所です。



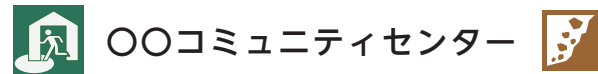
指定避難所
立退き避難をして、災害の危険性がなくなるまでの間、生活をする場所です。

● 避難施設の適否

洪水時避難可能



土砂災害時避難可能

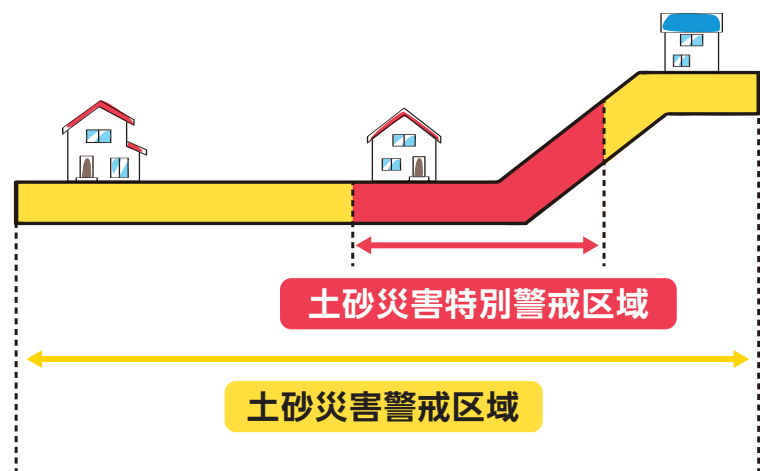


洪水・土砂災害時避難可能



2 土砂災害警戒区域等 (土砂災害がおこるおそれがある範囲)

土砂災害発生のおそれがある区域はその危険に応じて「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」に分かれています。



土砂災害特別警戒区域 (Red Zone) / 土砂災害警戒区域 (Yellow Zone)

土砂災害特別警戒区域 (通称レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ、町民などの生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制や、建築物の構造規制などが行われます。

土砂災害警戒区域 (通称イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に町民などの生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

新たな土砂災害が発生するおそれのある箇所 (令和4年公表)

全国的に土砂災害警戒区域の外でも土砂災害が発生している状況を踏まえ、岩手県では高精度な地形情報を用いて、新たに「土砂災害が発生するおそれのある箇所」の抽出を行っています。ハザードマップ上には、町内において令和4年度に公表された計197箇所を掲載しています。

- 急傾斜地
- 土石流

3 ワークショップ結果

本マップの作成にあたり、災害発生時の避難行動について考えるワークショップを令和4年7・8月に開催しました。ワークショップ時に町民のみなさんにいただいた各地区固有の危険箇所や過去に浸水した箇所などの意見を、避難行動において参考となるようハザードマップ上に掲載しています。

● --- 避難先・避難経路

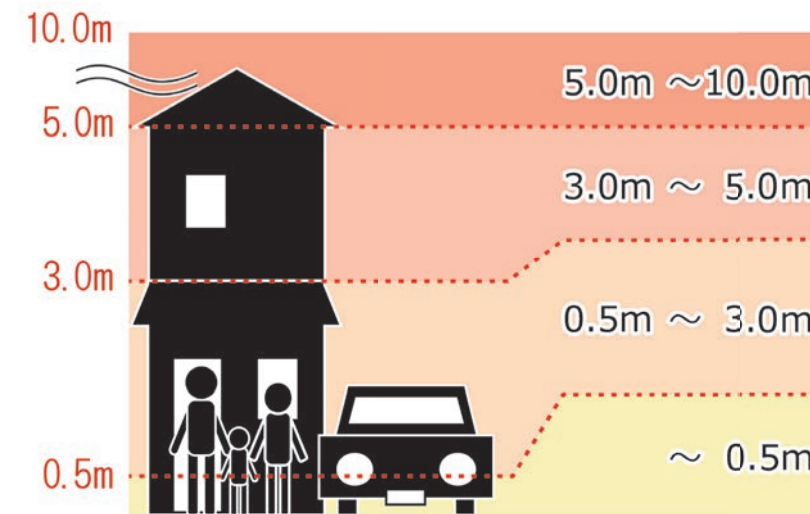
いざというときの避難場所や、避難場所までの避難経路などを「避難先・避難経路」として掲載しています。

● --- 避難時の注意事項

避難経路中の危険箇所や、過去に浸水、土砂災害が発生した箇所などを「避難時の注意事項」として掲載しています。

4 洪水浸水想定区域 (浸水するおそれがある範囲)

洪水浸水想定区域 (豊間根川・関口川)

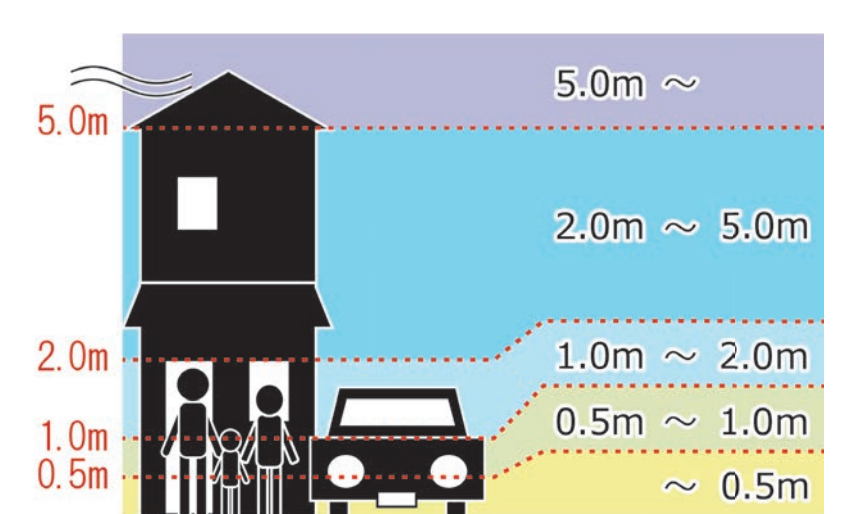


※豊間根川・関口川は、想定し得る最大規模の降雨 (1000年に1回程度起こる大雨) を想定した際の浸水想定区域を表示しています。

豊間根川・関口川での想定し得る最大規模の雨量

- 豊間根川：津軽石川流域 総雨量568mm/24時間
- 関口川：関口川流域 総雨量747mm/24時間

洪水浸水想定区域 (荒川川・織笠川)



※洪水防御の計画の基本となる降雨 (荒川川は100年に1回程度、織笠川は30年に1回程度起こる大雨) を想定した際の浸水想定区域を表示しています。

荒川川・織笠川での想定される雨量

- 荒川川：津軽石川流域 総雨量325.3mm/24時間
- 織笠川：織笠川流域 総雨量258mm/24時間

※ (参考) 令和元年台風第19号時に降った雨の量：総雨量324mm/24時間

● 洪水・土砂災害ハザードマップ索引図

